

海から地域を支える。 神戸で育った思いを、 海事行政の現場へ。

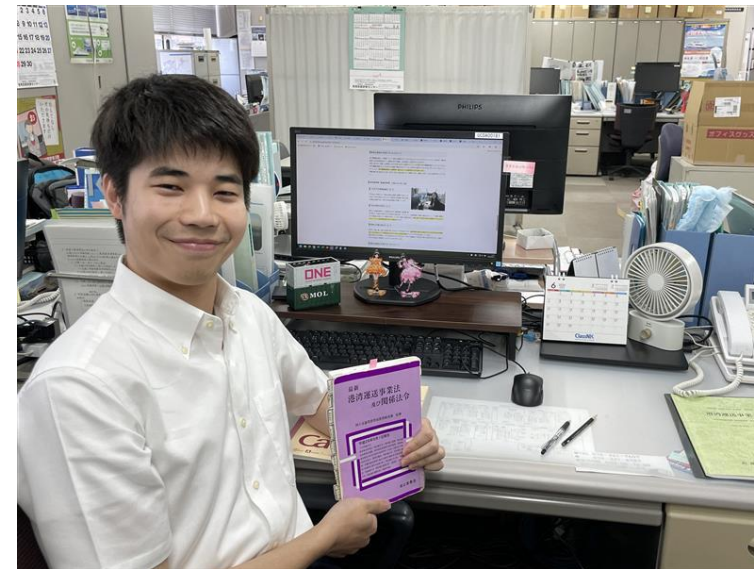
#若手職員

#採用3年目

#地元神戸

● CONTENTS

1. 神戸運輸監理部への就職を選んだ理由
2. 入省前後で感じたギャップについて
3. 貨物・港運課の仕事について
4. 職場の雰囲気について
5. 国家公務員を目指す方へのメッセージ



現在の所属: 海事振興部貨物・港運課

● 採用年度

令和6年度

● 入省後の経歴

1年目～: 海事振興部貨物・港運課貨物船係

3年目～: 海事振興部貨物・港運課港運係

1. 神戸運輸監理部への就職を選んだ理由

私は、小学校から高校までを神戸で過ごし、神戸港を往来する船の汽笛を聞いて育ってきたため、地元神戸で海に関する仕事ができると知って興味を持ちました。

業務説明会では、事務室を見学した際に、職員の皆さんの穏やかな雰囲気がとても印象に残りました。また、業務説明を通じて、職員の皆さんが海事行政のプロフェッショナルとして自信と誇りを持って業務に取り組まれている姿に憧れを抱きました。

このように、業務内容と職場の雰囲気の双方に魅力を感じ、神戸運輸監理部への就職を志望しました。



庁舎の窓からは神戸港を一望できます。

2. 入省前後で感じたギャップについて

行政の仕事は縦割り志向が強いと思っていましたが、神戸運輸監理部が比較的コンパクトな組織ということもあってか、部署や役職の垣根を越えて関われる環境でした。

経験豊富なベテラン職員と一緒に仕事をしたり、上司の業務に同行したりと、身近で学べる機会が多いのは、入省前には想像していなかった嬉しい誤算でした。

また、入省前は、許認可業務は法令に基づき粛々と遂行するものだというイメージがあり、ある意味単調な毎日をごすことになるだろうと思っていました。

しかし、実際には、事業に関する様々な相談対応や、他官庁と合同で実施するイベントなどもあり、新しい発見や経験ができる、予想以上に刺激的な日々を送っています。

3. 貨物・港運課の仕事について

日本は島国であるため、資源やエネルギーの多くを船舶による輸入に依存しています。また、国内物流の約4割は船舶によって担われています。

貨物・港運課では、国内間の船舶による貨物輸送や、港湾における貨物の積み降ろしが安全かつ円滑に行われるように、関係法令に基づく許認可業務や、法令の遵守状況を確認するための監査業務を主に行っています。

• 貨物船系の業務について

国内間での船舶による貨物輸送を「内航海運」といい「内航海運業法」により規制されています。内航海運を行う事業者は、内航海運業法に基づき国の登録を受けることが義務づけられており、貨物船系では登録にかかる審査業務を行っています。審査にあたっては、船舶に乗り組む船員の資格・人数(船は大きさや出力により必要な免許、乗り組む人数が異なります。)

や運航基準が適切に設定されているかなど、他部署と情報共有しながら業務を進めるほか、案件によっては全国の他の運輸局とも情報共有を行います。

また、年に一度、内航海運業界の活性化に向けたセミナーを開催しており、講演のテーマ決めや講師依頼、広報準備などを、共催者や講師と調整しながら進めます。

このように、貨物船系は関係各所との連携を要する業務が多いため、調整力を要することもあります。円滑に業務を遂行できた時には大きな達成感を得られます。

• 港運系の業務について

港運系の「港運」とは「港湾運送」の略称です。港湾運送事業は、港湾における貨物の積み降ろし(「荷役(にやく)」と言います)作業や、それに関する事務手続を行う事業を指し「港湾運送事業法」により規制されています。

港運係では港湾運送事業法に基づき、事業者の事業計画を審査し、許認可業務を行うとともに、法令遵守や運賃の収受状況を確認するための立入監査を実施しています。

港湾運送事業法は、戦後復興の混乱期に、港湾の秩序維持及び安定的な輸送の確保を目的として制定された経緯があり、下請けの制限など、他業界とは異なる特徴的な規定が設けられています。

そのため、業務においては、法令やその背景にある経緯を踏まえた慎重な判断が求められます。状況の整理に時間を要することがほとんどですが、業務の意義や責任を実感することができます。

4. 職場の雰囲気について

どの部署も和気あいあいとしており、冗談を言い合える雰囲気があります。私の所属する貨物・港運課では、定時後に管理職を交えてカラオケに行くこともあります。

また、同期をはじめ年齢の近い若手職員との交流も盛んで

毎年若手職員が集まりバーベキューを開催しています。さらに、若手職員のグループで釣りに出かけたリアーティストのリリースイベントに足を運んだりするなど、プライベートでも適度に交流を深めています。



(一匹も釣れませんでした。)

5. 国家公務員を目指す方へのメッセージをお願いします

説明会や官庁訪問では、業務内容やキャリアパスについての情報を収集するだけでなく、事務所の雰囲気を感じとり、その官庁で働く未来の自分を想像してみることも大切です。最終合格発表までの時間が長いので、不安で心が折れそうになる時も多くあると思いますが、未来の自分を思い描きながら、前向きな気持ちで頑張ってください。